

ヒロセ通商株式会社
第19期定時株主総会 質疑応答要約

Q1.

(御意見) 株主の公平性という観点で、株主優待を廃止し、配当や自社株買い等の還元を行う会社が増えてきている。例えば、100株保有している人と1万株保有している人とは1万株保有している人の方が配当・優待利回りが低くなり、公平性に問題があるように思う。株主優待は楽しみもあるが、今後は増配を考えてほしいと思う。

A1.

株主優待の目的として、当社で実際に扱っているキャンペーン商品を株主優待商品として配布することで、株主様に当社の取り組みをより知っていただき、ファンになっていただきたいということがあります。

配当に関しては、内部留保を確保しながらでも、株主様のためにしっかりと配当をしていくことが重要だと考えておりますので、今後もしっかりと対応できるように経営をしていきたいと考えております。

Q2.

(御質問) この4~5年、売上や利益が横ばいの状況が続いている。役員がずっと同じメンバーのため、なかなか新規事業が生まれてこないのだと思う。今後も増配をせず、内部留保を確保するのであれば、今後の成長戦略をしっかりと開示してほしい。成長戦略を開示した上で、だから内部留保が必要で、配当はこの金額になった、という説明が欲しい。

A2.

成長戦略につきましては、FX事業を軸としながら、新規でCFD事業も立ち上げました。昨今の時代の流れとして、貯蓄から投資へ、という流れが強まっております。その中で、FXやCFDは、非常に魅力的なものだと思います。FXと同時にCFDも取り扱うことは、当社の企業価値向上に寄与するものだと考えております。役員の方の顔ぶれにつきましては、今まで一から会社を立ち上げてきた中で積み上げてきた高いノウハウを持っているメンバーですので、一緒にこの事業を拡大していきたいと考えております。